



近頃、出会った本からCLを見つける

—相談室ベターデイ—

小木 晴代

h-ogis8doCL@tbz.t-com.ne.jp

「日々是好日」—「お茶」が教えてくれた15のしあわせ— 森下典子 新潮文庫

著者は、大学生のときから25年間、お茶の稽古を続け、茶事から学んだこと、気づいたことを一冊の本にまとめました。

第1章から15章までのタイトルも内容もCLに通じます。

例えば、第二章、「頭で考えようとしなさいこと」では、「お点前の手順を考えながらしていると先生から「考えない、考えない」と注意され、「頭で考えないの。手が知っているから、手に聞いてもらなさい」と教えられます。


第三章、「「今」に気持ちを集中すること」では、「道具の前後を間違えたり、濃茶用の「出し帛紗」を懐に入れるのを忘れて、ポロポロと不注意を連発したりして、先生から、「あなた、いまどこか、よそへ行っちゃってるでしょ」、「ちゃんと、ここにいなさい」、「お釜の前に座ったら、ちゃんと、お釜の前にいるのよ」と諭されます。

第六章「季節を味わうこと」では、「ますますわからなくなるお点前を繰り返しながら、和菓子を食べ、道具に触り、花を眺め、掛け軸から吹いてくる風や水を感じた。今と言う季節を視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の五感ぜんぶで味わい、そして想像力で体験した。毎週、ただひたすら。やがて、何か、かわりはじめた・・・。」と書いています。

「五感で自然とつながること」、「今、ここにいること」「このままでよい、ということ」、「雨の日は、雨を聴くこと」などのタイトルすべてが、CLの教えそのものです。

「独立記念日」 原田マハ PHP 文芸文庫からは、CL的内観を発見しました。

「名もない星座」にケンタウルスは言う。この世の生き物すべてには、限りある命がそなわっている。いつの日にか、お母さんだけでなく、お父さんもマリコも、子犬のチイも、みんな星座になるのだよ。その日がくるからこそ、いまを大切に生きていきなさい。お母さんのコロッケに、家計簿に、洗濯物に、ありがとうって言うんだよ。
(千葉県千葉市インストラクター)

 [目次へ戻る](#)